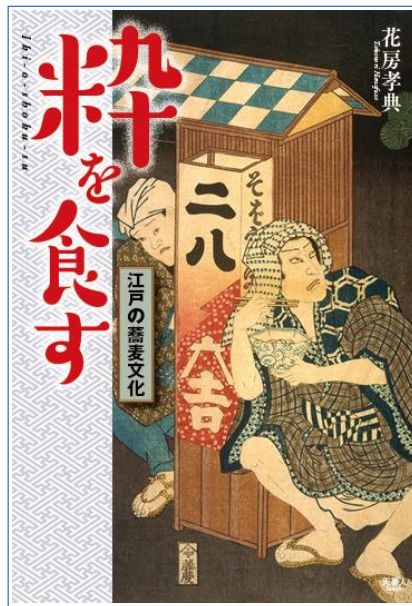


各 位

2018年9月19日
株式会社天夢人

蕎麦こそ江戸の「粋」を伝える食、奥深き蕎麦文化を堪能！
『粋を食す 江戸の蕎麦文化』発刊

インプレスグループで鉄道・旅・歴史メディア事業を展開する株式会社天夢人（本社：東京都港区、代表取締役社長：勝峰富雄）は、2018年9月20日に、『粋を食す 江戸の蕎麦文化』（花房孝典・著）を刊行します。



江戸の食といえば、鮓、天婦羅、鰻、そして蕎麦。しかし蕎麦は、鮓、天婦羅、鰻と異なり、いわゆる「江戸前」の食材を使わない上に、その産地は信州や東北など他の地域。それにもかかわらず、蕎麦がなぜ江戸の食の代名詞のひとつになったのか？

本書は、「江戸の蕎麦」の成り立ちから庶民に広まった背景や食事情などを、あたかも蕎麦を手繰るようにひも解く江戸の蕎麦雑学事典です。

蕎麦はなぜ江戸っ子たちにもてはやされ、江戸の粋を語る上で欠かせない食となり、確固たる地位を築くようになったのか？ 二八そばの正体とは？ など、蕎麦にまつわる謎をはじめ、「砂場」「藪」「更科」の老舗蕎麦屋の誕生、落語と蕎麦、歌舞伎と蕎麦などさまざまな切り口で蕎麦の奥深さを探るユニークな蕎麦考です。

蕎麦好き、蕎麦通の蘊蓄満載、蕎麦とともに楽しみたい一冊です。

<目次>

江戸之蕎麦口上

第一章 江戸の蕎麦事典

考察 江戸の蕎麦／蕎麦と茶／蕎麦と酒／江戸蕎麦之品書／笹と盛り／蕎麦の美学／蕎麦とつゆ／蕎麦と薬味／蕎麦は呑むべし、噛むべからず／蕎麦とつなぎ／蕎麦切りの始まり／蕎麦屋登場／江戸の景物、夜蕎麦売り／二八蕎麦の正体／吉原と蕎麦／歌舞伎と蕎麦／蕎麦屋の看板／砂場・藪・更科／蕎麦屋と宣伝／蕎麦と習慣

第二章 蜀山人蕎麦ばなし

「蕎麦の記」／『壬戌紀行』／蕎麦の毒

第三章 蕎麦と笑い

蕎麦と川柳／蕎麦と小咄／蕎麦と落語

第四章 江戸から東京へ

その一 幕末・明治蕎麦模様／その二 『味覚極楽』蕎麦ばなし／その三 蕎麦ばなし万華鏡

『秘伝蕎麦屋之作法』 後書きに代へて

●筆者プロフィール

花房孝典（はなふさ・たかのり）

1946年、名古屋生まれ。作家・評論家。慶應義塾大学法学部卒業。雑誌『ホットドッグ・プレス』の創刊メンバーで同誌名の案出者。著書に『柳』『コリア・ビギナーズ・ブック』『銀座の歩き方』『アイビーをつくった男 石津謙介の知られざる功績』『定本 実録 大江戸奇怪草子 忘れられた神々』などがある。音楽や雑誌文化にも造詣が深く、関連寄稿も多数。

【書誌情報】

書名：『粹を食す 江戸の蕎麦文化』

仕様：四六判 240頁

定価：1600円＋税

発売日：2018年9月20日

全国書店、オンライン書店のAmazonなどで発売中。

<http://amzn.asia/d/cReBCf7>

【株式会社天夢人】 <http://temjin-g.com/>

2007年設立。現在、隔月刊雑誌『旅と鉄道（奇数月21日発売）』（発売：山と溪谷社）を発行し、また2017年より、書籍・ムックの刊行も始めました。鉄道や旅をはじめ、自然、歴史・民俗、カルチャーなどを伝える雑誌や書籍を編集・発行し、豊かな人生をおくるための生活情報を発信していきます。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス(本社:東京都千代田区、代表取締役:唐島夏生、証券コード:東証1部9479)を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「旅・鉄道」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社天夢人 担当:野口芳江
Tel: 03-6413-8755 / E-mail: info@temjin-g.com
URL: <http://temjin-g.com/>